

こたまコラム (矢作新報社への寄稿内容)

異常な暑さが続いておりますが、皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。

さて、先月21日に参議院議員選挙が執り行われ、与党自民党の圧勝で幕を閉じましたが、その事により衆参のねじれが解消し、今後新たな政策が実行に移されていく事が予想されますが、地域への影響を注視しつつ、諸問題の解決に努めてまいりたいと存じます。

また、更に話は遡りますが、愛知県議会の6月定例会が先月3日に閉会となりましたが、この6月定例会において自身3度目となる一般質問を行い、中小企業支援と地域交通の充実の必要性について質問・提言をさせていただきましたので、今回はその内の中小企業支援に絞ってご紹介させていただきたいと思っております。

愛知県経済は、一時期と比較すれば活性化してまいりましたが、まだまだ本調子とは言い難く、今後の経済と産業の更なる発展を推し進めていく為には、県内常用雇用者の約7割を占める中小企業の皆さんが如何に元気に働いていけるかに懸かっています。

愛知県では、中小企業支援を目的とし、昨年10月に「中小企業振興基本条例」を公布・施行し、中小企業支援に努めていますが、国の中小企業金融円滑化法が期限終了を受け、これまで厳しい資金繰りを乗り越えてきた中小企業の経営への影響、ひいては、企業倒産の増加を懸念する声もあります。

県答弁では、金融機関を始め各関係機関と連携を図りつつ、県制度融資の申込み窓口の拡充など利便性の向上に一層努めるとともに、中小企業の業況や資金繰りに細心の注意を払いながら、状況に応じて機動的に対応策を検討するとの事でありましたが、県の取り組みが迅速に行われるよう、引き続き提言してまいります。



愛知県議会議員

こたま よしかず

樹神 義和 